



前期終了

本日で前期が終了しました。終業式では、子どもたちに前期の振り返りとともに、身に付けてほしい力として、集会の折に度々話題にしてきた「反応する力」「対話する力」について話をしました。

話し手の方を向いて、時には頷きながら聞いたり、発表が終われば「分かりました」「同じです」などと、話し手に応えたりする場面をたくさん見かけるようになりました。この「反応する力」については、お互いを認め、一人一人の発言をしっかりと受け止めてほしいという願いがあります。「対話する力」については、自分の考えをしっかりと伝え、相手の考えを聞いて、自分の考えを広げたり、深めたりすることで、ペア学習やグループ学習など授業の中でも位置付けて、身に付けていくようにしています。そこには、みんなで学ぶよさや楽しさを知ってほしいという願いがあります。また、こうした学び合いを通して、人とかかわりながら生きていくために必要な資質・能力が身に付いていくとされています。

本年度の校内研修では、「複式学級における算数科の授業づくり」について、全職員で研究に取り組んでいます。先月12日には、5・6年において、今日1日は、3・4年において、研究授業を行いました。各授業とも、めあてをしっかりと立て、解決の見通しをもって、各自が進んで課題に取り組んでいました。課題解決に当たっては、ペア学習の場面を設定し、対話による学び合いを通して、友だちの考えを聞いて、自分の考えを深めていました。最後のまとめでは、子どもたち同士で、話し合いながら、まとめを書くことができました。これからも、こうした授業づくりを子どもたちとともに作り上げていながら、上記のような力を身に付けさせていきたいと思えます。



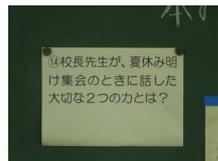
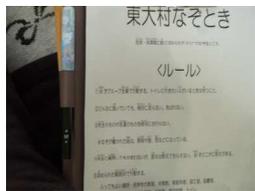
○秋の遠足(遠足短縮バージョン)

9月27日(金)に秋の遠足を実施しました。午後から雨の予報だったので、出発時刻を早め、横山頭で折り返す短縮バージョンに変更しました。距離を短くしたものの、この日はとても蒸し暑く、片道3kmでも結構歩き応えがありました。横山頭で恒例の「元気玉(飴)」をいただき、全員元気に学校に戻ってきました。



この後が、今回の短縮バージョンならではの有意義な活動となりました。昼食は、自分で作ってきた「おにぎり」を銘々が見せ合いながら、おいしそうに食べていました。

昼休みを挟んで、午後は校内でのレクレーションとして、「東大村なぞとき」を行いました。問題(なぞ)は、担当の川添先生が、前日遅くまでかかって作られ、そのおかげで子どもたちは楽しく活動することができました。縦割りのグループ編成で、グループごとに校舎内の壁や黒板などに貼られた問題を解いて回りました。校舎内を行ったり来たり、答えに結びつくものを探しながら、仲良く活動することができました。「きつかったけど、楽しかった」という声を聞き、今回は、川遊びはできませんでしたが、子どもたち同士のふれ合いのある有意義な時間を過ごすことができました。「おにぎり」作りでは、御家庭で、子どもたちの作る様子を温かく見守ってくださったことと思えます。お忙しい中、ありがとうございました。



○食に関する指導・給食訪問

9月25日(水)に栄養教諭の栗本先生にお越しいただき、3・4年生は、「食に関する指導」を、5・6年生は、「給食訪問」をしていただきました。

「食に関する指導」では、「おやつの食べ方について考えよう」という内容で、どんなおやつのお食べ方がいいのか、3人(A・B・C)のお食べ方を示され、子どもたちはそれぞれのおやつのお食べ方で気づいたことをプリントに書き、発表しました。

Aさんは、おやつを昼食や夕食前に食べているからダメ、Bさんは、ポテトチップスをたくさん食べたり、ジュースを飲み過ぎたりしているからダメ、Cさんは、バランスがよくて、栄養のあるフルーツをとっているから体にいい、などの発言があり、日頃、子どもたちが身近に経験している内容ということもあり、しっかりと考え、理解を深めることができました。

Cさんの場合		
金	ヨーグルト 1個	午後4時30分
	なし	1切
	牛乳 1本	午前10時
土	ぶどう 10つま	午後3時

5・6年生の「給食訪問」では、地産地消(地元生産・地元消費)について、話していただきました。「輸送コストがかからない、新鮮でおいしい」などの地産地消の良いことについて、子どもたちも納得しているようで、学校給食に度々出てきます。先日7日には、大村市で生産された「きゅうり」の酢の物が献立にありました。給食では、一年中大村産の「きゅうり」を使っているそうです。

